

公益社団法人日本セラミックス協会
2023 年度事業計画

2023 年 4 月 1 日より
2024 年 3 月 31 日まで

2023 年度は、新たに策定した「2023～2025 年度中期経営計画」の初年度に当たります。新しい中期経営計画においても、「社会への価値提供」、「協会活動の活性化」、「協会の組織力強化」を戦略課題と位置づけ、目標達成に向けた活動を進めていきます。

「社会への価値提供」としては、引き続き、産官学連携活動、国際交流事業、男女共同参画活動の推進に注力し、教育啓発活動の強化にも努めます。国際交流活動では、2026 年 9 月 6 日～11 日に札幌で開催予定の国際セラミックス会議（ICC11）の実行委員会を立ち上げて準備活動を開始します。また、本協会ならびにセラミックス分野の発展に顕著な業績を挙げた海外在住の方を本会として称える「日本セラミックス協会国際フェロー賞」の創設を検討しています。男女共同参画活動では、協会の女性役員の比率を引き上げる目標を掲げながら、視野を一層広げたダイバーシティに関わる啓発活動を進めていきます。また、教育啓発活動としては、特に、一般中高生に対する教育啓発活動を始めるとともに、セラミックス博物館や動画などのホームページのコンテンツを拡充していきます。さらに、我が国の技術、産業の発展や国民生活、文化等に対して貢献した、セラミックス分野における技術史的、文化的価値の高いものを協会として発信し、次世代に伝えることを目的とした「セラミックス遺産」認定制度を検討しており、準備が整い次第立ち上げる予定です。

「協会活動の活性化」としては、年会・秋季シンポジウムでのオンライン活用を積極的に進めて参加者の利便性を図り、特に、産業界からの参加者が増えるよう一層の内容充実と魅力度向上に努めていきます。また、支部／部会間での情報共有や連携活動を推進することで協会活動を広げていきます。

「協会の組織力強化」では、2021 年度より 2 年間かけて検討を重ねて制定した新しい組織・運営体制を 2023 年度よりスタートさせます。新体制は、協会全体の経営にかかわる「理事」とそれぞれの事業運営にかかわる「委員長」とを分けることで、理事の責任を明確にすること、並びに、理事会を構成する役員数を減らすことで理事会がより機動的に機能することを目指しています。また、若手会員および特別会員へのサービスを充実させ、会員の満足度向上を目指します。

財務に関しては、公益法人財務 3 基準を満たすよう留意しながら、外部環境変化に適応した効率的な事業運営に努めていきます。

定常的な事業活動として、本部主催では以下に示すような活動を行う予定で、支部・部会主催では別紙に示すような活動を行っていく予定です。

主な事業計画

行事 (公1)	・第36回秋季シンポジウム(2023年9月6日～8日 京都工業繊維大学(松ヶ崎キャンパス)) ・2024年年会 (2024年3月14日～16日 熊本大学(黒髪キャンパス))
出版 (公2)	・Journal of the Ceramic Society of Japan 毎月発行12回/年。特集号3回予定。 ・セラミックス誌 毎月発行合計12冊。 印刷部数毎号 冊子版2000部、Web版4000部、総頁1000頁。特集記事、その他連載
研修・ 講習会 (公3)	・セラミックス大学2023(オンライン開催)計7回講義
教育・啓発 セミナー (公4)	・高校課題研究フォーラム(2023年8月) ・高等学校生徒セラミック作品展(2024年3月年会) ・教育セッション(2024年3月年会) ・教材用セラミックス関連サンプル(見本)の整備と貸出 ・理工系人材育成活動助成金公募の実施 ・男女共同参画企画「セラミックスカフェ」(第36回秋季シンポジウム) ・男女共同参画企画「セラミックスカフェD&I座談会」(2024年3月年会)
標準化 (公5)	・標準化特別企画(第36回秋季シンポジウム) ・第19回セラミックス関係分析技術者研究発表会
国際交流 (公6)	・Journal of Asian Ceramic Societies (JAsCerS)(年間4回発行) ・国際セラミックス会議(ICC11)に向けての準備活動 ・年会および秋季シンポジウムでのアメリカセラミックス学会との連携による国際セッションの開催
広報 (公4・ 他2)	・協会ウェブコンテンツ拡充および協会活動PR(公4・他2) ・協会誌編集委員会との連携によるウェブコンテンツ「セラミックス博物館」のコンテンツ追加・更新(公4) ・Twitterの公式アカウント化に伴う、広報および啓発活動への利用推進(公4)
表彰 (他1)	・第8回日本セラミックス大賞 ・第4回日本セラミックス協会功績大賞 ・第78回(2023年度)功労賞、学術賞、進歩賞、技術賞、技術奨励賞 ・第57回(2023年度)セラミックス貢献賞(表彰式2023年10月6日) ・第18回(2023年度)協会活動有功賞 ・2023JCS-JAPAN優秀論文賞・優秀総説賞 ・国際交流奨励賞(21世紀記念個人冠賞(倉田賞、井関賞、倉田学生賞)) ・第48回日本セラミックス協会学術写真賞 ・2023年会優秀ポスター発表賞 ・第9回日本セラミックス協会フェロー表彰

<会議開催計画>

1) 理事会 5回(5月、6月、7月、11月、2024年2月)

2) 委員会(開催数)

経営諮問会議	1	標準化委員会	2
経営審議会議	2	化学分析小委員会	3
運営会議	2	教育委員会	3
支部長・部会長会議	5	セプロ小委員会	2
会員・サービス委員会	2	男女共同参画委員会	3
行事戦略委員会	2	産学連携委員会	2
表彰委員会	2	役員候補者推薦委員会	1
科学・技術委員会	2	日本セラミックス大賞選考委員会	1
国際交流委員会	2	日本セラミックス大賞候補者推薦委員会	2
行事企画委員会	4	功績大賞選考委員会	1
年会小委員会	4	功績大賞候補者推薦委員会	1
秋季シンポジウム小委員会	4	功労賞選考委員会	1
編成会議	1	学術賞、進歩賞、技術賞、技術奨励賞選考委員会	2
学術写真賞選考委員会	1	セラミックス貢献賞選考委員会	1
論文誌編集委員会	12	国際交流奨励賞選考委員会	1
優秀論文賞選考委員会	1	協会活動有功賞選考委員会	1
協会誌編集委員会	10	フェロー表彰選考委員会	1
出版委員会	5	アドバイザーボードミーティング	1
基礎工学講座改訂 WG、啓発 WG、			
新刊出版 WG	各 5		
広報委員会	2		